



広報 なかわだ

第430号

2016年2月7日

2016年2月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://nakawada-catholic.com>

ユスト高山右近列福（殉教者）に向けて

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

2016年2月7日（日）14:00 大阪カテドラル 聖マリア大聖堂において、「ユスト高山右近列福祈念ミサ」が予定されています。

バチカンの教皇庁国務省、列聖省は、フランシスコ教皇の承認によって2017年2月に福者ユスト高山右近列福が発表されました。日本のカトリック教会にとっては大きな喜びとなることと思います。

私の書棚に、吉川英治全集31巻に高山右近についてB5版260ページにわたって書かれています。その最終ページは、ロレンソ神父に右近が告白（ゆるしの秘跡）をするところで終わっているのが、信仰の恵みをよく表していると思いました。



日野神父様金祝について

日野神父様は、司祭叙階されてから今年で50年（金祝）になられます。

現在、金祝のお祝いをどのように行うか、実行委員会を立ち上げて検討しています。決定したことは、金祝パーティーは、5月1日（日）に行うことで、パーティー内容、場所等は検討中ですが、決定次第皆様にご連絡致しますので、多くの方のご参加をお願い致します。

また、金祝のお祝い品の為、皆様に献金（献金箱をお聖堂内においてあります）をお願いしておりますので、ご協力お願い申し上げます。
（金祝実行委員会 井上 昭男）



日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
2	火	祝日ミサ (9:30)	主の奉献 [祝]	
3	水			聖書の会 (10:00)
5	金	祝日ミサ (9:30)	日本26聖人殉教者 [祝]	
7	日	主日ミサ (9:00)	年間第5主日	
10	水	祭日ミサ (19:00)	灰の水曜日	聖書の会 (10:00)
11	木			横浜教区典礼研修会 (於藤沢教会)
12	金	週日ミサ (9:30)	十字架の道行1 (9:00)	
14	日	主日ミサ (9:00)	四旬節第1主日	教会委員会 横浜教区合同入信志願式 (於藤沢教会)
17	水			聖書の会 (10:00)
19	金	週日ミサ (9:30)	十字架の道行2 (9:00)	
21	日	主日ミサ (9:00)	四旬節第2主日	信徒の会
24	水			聖書の会 (10:00)
26	金	週日ミサ (9:30)	十字架の道行3 (9:00)	
28	日	主日ミサ (9:00)	四旬節第3主日 子どもミサ	

～ 中和田の風 ～

「愛を注ぐ」

－ わたしたちは大海の一滴 －



例年バザーのチラシに水彩画を描いてくださっている上野明子さん（76歳）にお話を伺いました。

▲どのような経緯で受洗なさったかお聞かせください。

⇒父は公立学校の教師をしていましたが、女の子は躰がしっかりしている学校が良いとの方針でカトリック系の女子校で6年間学びました。学校では放課後に特別要理の勉強があり、優しいシスターに導かれ洗礼を受けたいと思うようになりましたが、その時は家族に反対されました。東京の美大卒業後、故郷に帰り公立の小学校、中学校の教師を続け10年近く経った頃、母校の修道院の玄関で「帰って来たね」と迎え入れてくれるような手を広げたキリスト像を目にした時、再び要理を勉強しようと決心しました。その後間もなく信者の主人を紹介され受洗、結婚に至りました。

▲上野さんにとって絵を描くことはどんなことですか？

⇒絵を描くことが好きだった父の手ほどきで、小1から絵日記を書き始め高3まで続けました。高2の時には美術展で思いがけず金賞を頂き、思わず神様に感謝したことを鮮明に覚えています。その頃の絵日記を両親が大切に保管してくれていたのが後に主人が自費出版を勧めてくれました。やはり子供の頃の幸せな原体験がずっと私の生きる原動力になっているような気がします。今でも花や自然の風景を見て美しいと思うと描きたくなります。描いている時は大変ですが描き終わると充実感と達成感が得られます。美術クラブのメンバーと共に静かに絵に向かい合う幸せな時間を共有できること感謝しています。

▲大切にしているキリストの教えは何ですか？

⇒幼稚園教諭をしていた母に代わって、信仰深い仏教徒でもあった祖母が私たち5人兄弟姉妹に献身的な愛を注ぎ育ててくれました。また戦後大磯にサンダースホームを創設した沢田美喜さんの孤児救済と養育にかける無償の愛に感動を覚え尊敬していました。未熟ながらも教師という職業に就き最初の赴任校は山の中にある僻地の小学校で大変でしたが、どの子も可愛く「平等に愛を注ぐ」ことに心をかけました。勉強が苦手な子供に得意なことを見出してやったり、いじめっ子の心に寄り添うことで、子供が変わっていく姿に「愛を注ぐ」ことの喜びを感じました。我が3人の息子たちも元気にのびのび育つようにと愛を注ぎ見守りました。その結果ユニーク、かつ優しく育ってくれたと思います。大きなことはできませんが、大海の一滴として苦境にある人々に寄り添う気持ちで祈り、愛を込めて生きていきたいと思っています。

受洗に向けて・・・マナリリ真紀子さん

フィリピン出身のマナリリ・ライアンさんの奥様・真紀子さんが復活徹夜祭に洗礼を受けることを望まれて、この度2月14日に藤沢教会で行われる「合同入信志願式」に臨まれます。

二人の可愛いお子さんを連れてご家族でミサに与っておられるのでご存じの方も多いと思いますが、当教会で昨年9月から始められ、月に2回のペースで和やかに行われている「カトリック入門講座」に当初からご夫婦で参加してこられました。参加者みなさんとの交わりが深まる中で、未受洗だった真紀子さんが受洗を望まれるようになりました。神父様もご承認くださり、仲間のみなさんの祝福を受けて実現の運びとなりました。このことは、ご主人様にとってはもちろん、中和田教会にとっても久しぶりの大きな喜びです。真紀子さんを共同体の一員として、私たちの豊かな交わりにお迎えできますことを主に感謝したいと思います。

四旬節を通して、新しいいのちへの道を歩まれる真紀子さんのために、どうぞ祈りと支えをお願いいたします。

（講座担当：岩崎、今井、内藤）



成人式、おめでとうございます！！

1月10日、
今年、成人式を迎え
る高田玉麟さんをお
祝いするミサが捧げ
られました。
ミサ後は新集会室に
てサロン形式のパー
ティがありました。



「二十歳になって感じること」

十代までの私は、「二十歳は、立派な大人の仲間入り」と思ってきました。

いざ、自分自身が二十歳になり感じることは、二十歳は大人の仲間入りなのではなく、
「大人へのスタートラインに立っているだけ」だということです。

私は義務教育を終え、結婚式に携わるブライダル専門学校に通っています。その専門学校の研修で、実際に社会人の人達と一緒に働く機会を頂きました。二ヶ月間の研修を合計三回行った中で、私はお金を頂く大変さを身に沁みて感じました。もちろん楽しいことばかりではなく、理不尽なことであれ、ぐっと堪えなければならない場面を何度か経験しました。

そんなつらい経験を乗り越えたからこそ、今の成長に繋がっているのだと感じています。義務教育期間では決して経験出来なかった日々を二年間過ごし、私は専門学校を卒業後、今年から本当の社会人になります。

長い研修を過ごしても、沢山の基礎知識を勉強してきたとしても、本当の社会人を経験するのはこれからです。いざ一人で生活していこうとしている今、様々な経験を積んだ今までの時間は、これからの社会人になる為の準備期間であって、大人の仲間入りをしていた訳ではないのだと今だからこそ感じています。社会のルールに対して分からないことだらけの中で、不安と期待を感じながら、私は今スタートラインに立っています。

この二十歳を始まりとして、私はこれからも今まで以上に努力していきます。(石原 未来) ※福島さんの孫娘さん

第5地区ピックアップ(11/29 第4回第5地区共同宣教司牧委員会から)

① 9月26、27日に軽井沢で開催された「教区懇談会」に関する報告

この報告によりますと、今回のテーマである「力を育てる」ということは、現状ではなかなかむづかしいという共通の認識が出席者にはあったようです。そして、課題の意識化の問題、家庭での信仰教育の問題、青少年の活動に関する問題、次世代へ引き継いでいくことへの不安などが語られたということです。これらの課題に対してはこれから対策が進められていくことでしょう。

これを受けて、梅村司教様は当日の講話で、共同司牧の必要性、司祭不在の教会、司祭高齢化のきびしい現実などを見据えて、以下の3点を挙げておられます。

- 1) 意識の改革
- 2) 補完性の原理 (他の小教区への手助けなど)
- 3) 聖霊への信頼 (み言葉を聴いて、交わりを深める)

② 第5地区の3部門からの活動報告

「証し」部門からは具体的な事例として、戸塚教会での「ほほえみの会」(知的障がい者家族の集い)と「ホームレス支援」の紹介がありました。また「伝える」部門からは第5地区全体での「信徒の集い・交流会」が提案されていました。

③ 修道会からの報告

第5地区の修道女会を中心に、司祭に頼らない黙想会ができたという発想で、大船教会を会場に「教会の祈り」を用いた「祈りの日」が数年前から行われていることが報告されました。

(岩崎好愛)



委員会だより

(文中敬称略)

△1月10日(日) 12名出席▽

■日野神父様のお話

・私も着任してから1年半たちました。その間に建物などの色々な問題が出ています。

・泉区の道路や近隣の地域の情報などを早めに把握し、教会の改築をする場合には有利になるようにしたら良いと思います。

■信徒大会と中和田教会建物再建の件について(岩淵委員長)

・信徒大会の方針と予定表(案)について、説明された。今年は、教会建物についての説明、意見集約、結論までを最重要事項としてとりあげる。で、原則的にグループ報告は紙面報告とし、その他もできるだけ時間を削減する。ただし、会計報告は1年間のことなので、15分説明、計25分で会計監査報告と質疑応答も済ませる。その後、建物についての説明をし、意見・質疑・結論まで進める。会計監査は1月17日に行う。

↓承認された。

・教会建物の件について、12月14日に行われた教区への相談の結果と今後について資料に基づき説明された。

・当日の教区の担当司祭と岩淵委員長の話し合いの結果は、次の通り。

↓中和田教会の早期再建の必要性は認められる

↓この資料は、教区建設委員会にそ

のままかけることは可能。(但し、神父様の署名と中和田教会の皆さんの総意の明確化が必要)

↓これからも何回かの教区建設委員会を経て、認可されることになるだろう。

↓教会の年齢別人口分布によると、将来的に希望が持てる。

■各グループからの報告

●財務(甲斐)

・一般会計、建設会計、愛の献金の2015年度決算と2016年度予算案の報告が行われた。今年度は、バザーの収益金が大幅に増えたこと、一般会計から建設会計にいくらかの金額を振り替える予定であること。来年度は、修繕費や光熱費を削減するように努力すること、愛の献金の中から泉区社会福祉協議会に寄付金を出すこと、金祝の祝いの準備金を用意すること。

↓承認された。

●典礼(小野(雅))

・1月～3月の典礼こよみの確認
・2月11日に横浜教区典礼研修会が藤沢教会で行われる。(参加者募集中)
・2月14日に横浜教区合同入信志願式が藤沢教会で行われる。(中和田教会からは入信志願者1名が参列)

●福祉(楠田)

・ホームレス支援のための色々な寄付(お肉、米、野菜)を届けた。

・毛糸の帽子を末吉町教会に届ける。
・旅路の里に、毛布、衣類を送る。

●広報(武田)

・原稿依頼(締切1月27日)

●総務(小野(和))

・2月のホワイトボード予定表確認。

●行事(武石)

・今日の成人祝賀パーティーで今年度の行事の活動は無事に終わりました。

●信徒の会(今井)

・2月6日(土)の2時から、社会福祉法人「開く会」理事長の鈴木正明氏による講演会を行う予定です。ポスターでお知らせします。

■その他報告事項

・スケジュール確認(2月)
・月修資料が配布された。
・16年度司祭人事異動が12月13日付で出された。

■その他

・神父様が、2月29日～3月9日まで10日間休暇を取られる。その間の3月6日(日)の四旬節第4主日ミサと黙想会、赦しの秘跡は萱場神父様に御紹介頂く神父様に御願います。(後日、作道神父様に決まった。)

・神父様とともに巡礼される方を募集する。以上

(次回委員会2月14日)

編集後記

中和田教会は人事組織の刷新をしてから、大分活動が活性化されたように思います。

信徒の会では、映画会、バスツアー、講演会、など様々なイベント等が実施され、参加された方も多いと思います。私も広島県の原爆被害の映画会を観た後、広島に行く機会があり、原爆ドームや広島平和記念資料館を見て現地の被害の様子に改めて驚きました。平和の大切さ、有難さを感じました。

先日の信徒大会では、喫緊の検討課題として、教会建物の問題点と再建に向けた取り組みについて、様々な観点からの詳細な資料をもとに信徒の皆様からの意見が出されました。その結果、教会建物の再建に関する委員長指針案が、小教区総意として了承されました。

広報部も「委員会だより」等でこれらの情報の正確な発信に努めてまいりますので、毎月必ず記事に目を通してくださるようお願い致します。

中和田教会のホームページがリニューアルされましたので、是非ご覧になってください。スマホ対応になり、「典礼こよみ」や地図など画面構成が見やすく工夫されています。

「中和田の風」は、引き続き心の交流を目指して、多くの方に登場していただきたいので、投稿やインタビューにご協力お願い致します。

(武田幸子)